

平成26年度 新発田市音楽部 活動報告

部長 高橋 敬子

- 1 研究主題 「思いをもって いきいきと 表現する子」
～鑑賞教材からの学びを生かした表現活動の工夫～

2 研究の概要

4月 活動計画の立案・決定

5月 講習会

・講師 阿賀野市立堀越小学校教頭 安澤 たい子 様

10月 授業研修

・授業者 御免町小学校 中島 美千子 教諭

・指導者 阿賀野市立堀越小学校教頭 安澤 たい子 様



3 研究の実際

(1) 講習会「鑑賞の指導方法について」

○内容 ①指導 鑑賞領域の学習内容, 指導方法, 評価方法について

②演習 6年「いろいろなひびきを味わおう」

『歓喜』（ヘンデル作曲）の鑑賞指導

(2) 授業研修 4年「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」

○協議の視点 手立て①聴き合いや歌い試しをする場の設定の有効性について

手立て②歌詞の内容を大切にされた表現の工夫の有効性について

○指導 ・日頃の学習（姿勢、歌声、表情、共通事項や音楽用語を使った話し合い）が、本時の「歌い試し・聴き合い」の学習に生きていた。

・「なぜゆっくりと歌いたいの？」等、根拠を問い直す言葉掛けが有効であった。

・児童がしていることに価値付け、勇気付けをするかかわり方がよかった。



4 成果と課題

(1) 成果

○ 講習会では、鑑賞領域の指導方法について、実践の紹介を交えて指導していただいた。学習過程を実際に体験することで、曲をより深く感じ取る流れを学ぶことができた。

○ 授業研究では、主教材「ゆかいに歩けば」の歌い方を工夫し、学級全体で共有していく学習活動が提案された。鑑賞教材で学んだことを生かし、「共通事項」を押さえた学習を展開していた。上記の2つの手立てが有効に働き、子どもたちが生き生きと歌ったり考えを出し合ったりする様子から、授業改善の手立てを学ぶことができた。指導者からもより多くの視点を与てもらい、研修が深まった。

(2) 課題

子どもたちに「思いをもって」活動させる手立ての工夫を探っていきたい。